



報道関係各位

2017年4月14日

ハイケム株式会社

## ハイケム、半導体産業の日中間ギャップに勝機

ハイケム株式会社（本社：東京都中央区、社長：高 潮）は半導体用電子材料分野において、設備移転や技術譲渡の事業化を推進し、日中間にまたがるバリューチェーンの構築を目指します。

現在、中国は年間 2300 億ドルを超える半導体製品を輸入しており、喫緊に内製化を進める中で、今後一層の需要増加が見込まれます。一方、日本の半導体用材料は全世界の約六割を占めています。このような状況下、ハイケムは半導体用材料や設備部品などの貿易事業、技術譲渡や資本提携など、様々なモデルで柔軟に参画していきます。

皮切りとして、ハイケムは中国航空技術国際控股有限公司（以下、中航国際）が新設した上海航日化学有限公司（以下、航日化学）と国内大手化学メーカーのOCA フィルム（透明層間充填フィルム）事業譲渡案件に参画しました。ハイケムは航日化学に 400 万円を出資し、2016 年 12 月に合併会社「航日ジャパン株式会社」（以下、航日ジャパン）を設立しました。

航日ジャパンは、OCA フィルムの開発研究および販売を主な事業内容としています。この日本法人設立の背景には、中国側の「事業存続に必要な研究資源と人材の確保」と日本側の「技術譲渡に伴う人的資源移動の難しさ」の思惑を両立可能にするという、日中間事業における新たなビジネスチャンスと捉えたからです。

これまで、日中間の事業譲渡案件においては「人的資源の移動」が一番の難点だと認識されてきました。モノと金の移動に比べ、人的資源の移動は、移動後のロケーションや仕事の環境について日本側の従業員の意向を汲むことが難しいからです。そこでハイケムは譲渡事業傘下に日本での合併会社を設立し、日本側の人材を日本で受け入れるモデルを標準化することにより、日中双方が「事業存続に必要な研究資源と人材の確保」を容易にする、という点を新たな日中間事業におけるビジネスチャンスと捉えました。

ハイケムは、日中間のギャップを埋めることで価値が生まれビジネスとなると考えています。今後は日中間における商品貿易による口銭ビジネスにとどまらず、設備移転や技術譲渡の事業化を推進し、お客様に新たな価値を提供してゆきます。

### 【この件に関する報道機関からのお問い合わせ】

ハイケム株式会社 管理本部 広報担当：劉（りゅう）  
TEL:03-5542-0580 E-mail: [liutong@highchem.co.jp](mailto:liutong@highchem.co.jp)  
URL: <http://www.highchem.co.jp>